

事業所名

多機能型 GIFTPlus

支援プログラム

作成日

令和7 年

2月

21 日

法人（事業所）理念		地域福祉と障がい児や子ども支援の拠点として、地域の人々が健康で安心して暮らしやすい地域づくりの一翼を担うこと																		
支援方針		利用者様に接する職員それぞれの特色を活かし、五領域支援を中心に各領域に沿った活動を提供します。また、普段はあまり出来ないような体験や多くは行かない公共施設に積極的に出掛けることで、利用者様が楽しめる体験や機会を提供することから将来の自立を目標に支援をしていきます。																		
営業時間		（平日）		10 時	00 分	から	19 時	00 分	まで	（土曜祝日）		9時	00分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容																		
本人支援	健康・生活	・自立活動…トイレの室内に視覚支援、室内清掃、ロッカーの整理整頓、忘れ物対策 ・アグリ…農業体験																		
	運動・感覚	・運動遊び…ダンス、体操、転がしドッチ、大縄跳び、風船バレー、ボール遊び、サーキット運動 ・屋外活動…公園、散歩、川遊び ・感覚遊び…スライム、新聞遊び、寒天、 ・制作…季節の壁面飾り、手作りオモチャ、母の日等のプレゼント作り ・調理…食材を切る、千切る、混ぜる、注ぐ、よそう、かける、のせる																		
	認知・行動	・個別課題…ソーシャルスキルトレーニング、絵カードマッチング、ヴィジョントレーニング（ナンバータッチ） ・シアター、リトミック ・スケジュール表の提示 ・視覚支援…適切な行動や適切な容姿を勧める掲示物																		
	言語 コミュニケーション	・ことば遊び…しりとり、落ちた落ちたゲーム、アナグラム ・ジェスチャーゲーム																		
	人間関係 社会性	・ソーシャルスキルトレーニング ・ルール遊び…一定のルールを定めて小グループでできる活動 ・外出活動…地域のイベントへの参加、公共施設																		
家族支援		・日々の自宅送迎や担当者会議・モニタリング会議等を通して、ご家族の悩みや困り感に寄り添い、子どもの障がい特性の理解の前段階として「気づき」の支援を個別性に配慮して対応します。								移行支援		利用者様が生活圏内で安心して楽しく生活が送れるように、事業所内でスケジュール履行や日々の活動を支援します。ご家族やご本人の意向を確認しながら、塾や習い事に移行できる可能性を模索します。								
地域支援・地域連携		西都市自立支援協議会・こども部会において、ご家族や利用者様の悩みや困り感について適切な対応の検討や、地域の福祉課題の解決に向けた協議、災害発生時における事業所別の避難リストの作成と共有を行っていきます。								職員の質の向上		社内で研修委員会を設置し、職員が自主的に研修活動を行います。また社外研修にも積極的に参加し、利用者様やご家族の対応について理解を深めていきます。								
主な行事等		1月…初詣（妻萬神社）、2月…節分（お面作り、豆まき）、3月…ひな祭り（折り紙制作）、5月…子どもの日（折り紙制作）、7月…七夕（短冊制作）8月…川遊び（三納川）、プール（じゃぶん広場）、公共施設への外出（県立博物館、県立美術館、大淀川学習館、外食、買い物活動）、9月…敬老の日（プレゼント制作）10月…ハロウィン（おやつ作り、壁面飾り制作）、12月…クリスマス会（お菓子パーティー、ビンゴ大会）																		